

たかひこ通信

暑中お見舞い申し上げます。たかひこ通信 No. 3をお届けいたします。ご覧いただき、ご意見・ご要望をいただければ幸いです。

部内資料 たかひこ通信 No. 3
2011/7/20 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4 薄井孝彦
Tel・Fax 0261-62-5093
mail:peace-ikeda@peach.plala.or.jp
http://web-ariakesan.com/

池田町を「花とハーブ」の里に

6月議会が終わりほとと一息、町をまわると、ラベンダーの素朴な色と香りに心癒されました。

議員になる前には気がつかなかったのですが、町にはハーブを植えている家庭や場所が多いいことに気づきました。これは過去に池田町を「花とハーブの里」にしようとして取り組んだ成果と思われまます。我が家にもラベンダーがありましたが枯れてしまいましたが、これではまいりました。これではまずいと、早速「てら坊市場」へ行き、ラベンダーの苗を入手し、植えました。来年はラベンダーの香りに包まれるように頑張りたいと思います。

池田町は2年前に、「美しい村連合」に加盟しました。村連合のホームページには連合の目的について次のように書かれています。(要約)

「美しい村」を宣言することで、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくり、住民による町づくり活動を展開することによって以下のことを実現することを目的とする。

- ・生活の営みにより作られた景観や自然を守る。
- ・観光的付加価値を高め地域経済の発展に寄与する。
- ・これらの取り組みにより地域の活性化、自立を実現する。

この観点に立つならば、池田町を「花とハーブの里」とし、田園風景を保全していくことが、連合加盟にふさわしい活動であると思えます。

ミニ情報「原発がどんなものか知ってほしい」(平井憲夫著) 原発建設の現場監督であった平井憲夫氏(1938~1997年)は Web(<http://www.iam-t.jp/HIRAI/>) 上で次のように述べています。

●原発は建設から検査まで素人によって作られているのが現実。いつ大事故を起こしても不思議ではない。

<なぜなら>

- ・福島原発では針金を原子炉に落としたまま運転していた。その危険性を作業員は知らなかった。
- ・昨日まで米の検査官だった人が原発の検査官となり、原発の運転許可を出した。

●原発は女性にも耐えがたい苦しみと差別をうみだしている。

<なぜなら>

- ・福井原発の近くで育った女性は、白血病の孫を見たくないとの理由で婚約を解消された。
- ・北海道泊原発の隣町に住む中学2年生の女子は「原発の煙突から出る放射物により私は24時間被爆している。子どもを産んでも大丈夫ですか？」と涙ながらに訴えた。

写真：美術館入り口のラベンダー通り



を立ち上げ、環境・産業振興も併せ検討していく」との回答がありました。今後、期待できそうです。とも力を合せ、美しい池田町にして行きましょう。

東日本大震災 支援物資募集中
日本共産党中信地区委員会は8月5日から8日まで岩手県大槌町に支援物資をとどけます。ご提供いただける方は薄井までご一報願います。



議会改革等推進特別委員会の活動が開始されました。

第1回特別委員会は7月7日に開催され、次のことが決まりました。

- 議会基本条例を制定している自治体を訪問し、条例の内容や問題点を把握・検討する。初回として、8月3日に大町市を訪問する。
- 2カ年をめどに基本条例の制定を目指し、そのなかに議員定数や議員報酬の問題も入れる。